

marie claire

marieclairejapon.com

25th June, 2026
No.210

Anne

Feel Bright

ポジティブに輝く夏へ

ハイジュエリー&ウォッチの最前線
装いを際立たせるボディケア

本サービスを利用した営利目的の活動行為、
あるいは本サービスを通じて入手した情報を
複製、販売、出版その他
私的利用の範囲を超えて使用する行為の
一切を禁止します。

Contents



©Louis Vuitton



- 9 Welcome to marie claire /
- 10 Cover Story: Anne /
- 12 Style Picks: Color Escape /
- 13 Style Picks: Clear Summer /
- 14 Joyaux de l'Ouest /
- 20 THE ROW /
- 22 WAKO /
- 23 2026 Watch Trend /
- 28 MILANO DESIGN WEEK /
- 31 OMEGA /
- 32 Piemonte /
- 33 Beauty: Travel Beauty Buddy /
- 34 Beauty /
- 36 marie claire Korea
- 42 Rolex /
- 43 CHANEL NEXUS HALL, shop list

cover

photo: Bungo Tsuchiya<TRON>
 hair: hirokazu endo<ota office>
 make-up: Yuka Washizu<beauty direction>
 styling: Chie Atsumi<ota office>
 knit, salopettes, bracelet: HERMÉS

牡牛座taurus 4月20日→5月20日★移動・会話・情報を使えることで活性化に。遠くを見渡すよりも、身の回りにチャンスあり。SNSで見かけた情報、友人との会話、何気ない瞬間を見落とさないことが鍵。

牡羊座aries 3月21日→4月19日★家族や身近なパートナーとの関係性に嬉しい変化が訪れる予感。7月14日の蟹座新月からは日常の基盤を整える動きが活発に！先を見すぎず心が動く方向を優先して感じてみるのが吉。

Welcome to marie claire vol.210

タ

イパ(タイムパフォーマンス)という言葉が世に出て久しいですが、最近では、「タイパ疲れ」も起きています。デジタル技術が進むと、無駄を排除することが正義の効率至上主義に傾きがちですが、古代ギリシャの哲学者の言葉を借りれば「時間は、人間が消費する最も価値あるもの」。効率化の波のなかで、私たちはただ時間を消費することに追われ、人生を豊かに彩るような心のゆとりまで削ぎ落とされてはいないでしょうか。

近年は、腕時計を持たず、スマートフォンで時間を確認する人が多くいます。「時間を知る」という意味では、あらゆる機能が詰まったスマートフォンで代用できればそれこそタイパもコスバもよいでしょう。それでもなお、私たちが腕時計に惹かれるのはなぜでしょうか。

腕時計の発祥は、19世紀初頭、天才時計師アブラアン＝ルイ・ブレゲが、ナポレオンの妹であるナポリ王妃カロリーヌ・ミユラのために制作した一本とされています。実は、その少し前に、ショーメの創業者であるマリ＝エティエンヌ・ニトが制作した華やかなブレスレットウォッチもあるようですが、「時計をはめ込んだジュエリー」とされ、最初から腕に着けるため設計した「世界初の腕時計」として公式記録に残っているのは前者のようです。

どちらにしても、初めての腕時計は女性が愛用したものでした。当時の貴族女性が

まとうドレスには、懐中時計を入れるポケットがなかったためにオーダーメイドで作られたわけですが、ドレスにポケットを作らずに時計を腕に巻けるようにと依頼した。この美しい閃きから、時計の新たな歴史が始まったのです。ほんの数センチほどの小さなフェイスの中身は、この200年で劇的な進化を遂げました。毎年ジュネーブ等で発表される新作時計には、人間の叡智と豊かな“想像性”を映した驚きが満載です。

数年で買い替えを迫られるデジタルデバイスとは異なり、優れた腕時計は丁寧なメンテナンスを施すことで、人間の寿命を遙かに超えて時を刻み続けます。共に過ごした年月や刻まれた微細な傷は、持ち主の人生の軌跡そのもの。だからこそ腕時計は、自らの歴史を宿した特別な資産として、次の世代へと受け継がれていくロマンとなるのだと思います。

手元に視線を落とすたび、私たちはただ時刻を見ているわけではありません。効率の対極にある心の豊かさと、自分自身の生き方を見つめているのです。最愛のパートナーとなる腕時計をお探しなら、ぜひ今号の時計特集にご注目を。

2026年6月25日




阿部はるひ
 Haruhi Abe, marie claire 編集長

marie claire 2026年6月25日発行 第15巻 第6号(通巻210号)

発行人 Publisher:
 安部順一 Junichi Abe

編集長 Editor in Chief:
 阿部はるひ Haruhi Abe

Executive Advisor, Global Affairs:
 田居克人 Katsuto Tai

アートディレクター Art Director:
 木村裕治 Yuji Kimura

ビジネススペシャリスト Business Specialist:
 齊賀明宏 Akihiro Saiga

副編集長 Deputy editor:
 大林理子 Riko Obayashi

編集部 Editorial Team:
 高波麻奈美 Manami Takanami
 岩崎芽衣 Mei Iwasaki

パリ特派員 Paris Correspondent:
 須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:
 木村裕治 Yuji Kimura
 佐藤幹 Miki Sato

発行 Publication:
 読売新聞東京本社
 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
 tel: 03-3216-8815
 THE YOMIURI SHIMBUN

印刷 Printing:
 共同印刷
 KYODO PRINTING CO.,LTD.

本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。
 ※本紙に掲載されている商品の価格は
 特記されている場合をのぞき、すべて税込みです。

MARIE CLAIREINTERNATIONAL

Executive Director:
 Jean de Boisdeffre
 International Deputy &
 Finance Director:
 Felix Droissart
 International Brand Director:
 Nicia Rodwell
 Chief Content Officer:
 Galia Loupan
 Chief Digital Officer:
 David Jullien

International Fashion &
 Beauty Chief Editor:
 Florence Deladrière
 Senior International Brand Manager:
 Céline Hananel
 International Editorial Coordinator:
 Marie Bazin
 Global Partnerships / Media solutions:
 Magali Riboud
 (Agence Riboud)

Foreign right Commercial:
 Thibaud le Paih
 Licensing Manager:
 Stephanie Ertzbischoff
 Iconographer, Photo library:
 Isabelle Teboul

©MARIE CLAIRE ALBUM 2026
 ©THE YOMIURI SHIMBUN 2026





〈COVER、P11〉フィッシュネットを想起するシアーな表情が涼感を誘うクロップドシルクニット。サロベットを重ねることでモダンさがいっそう引き立って。ニット¥360,800 サロベット¥640,200 プレスレット¥300,300(すべてエルメス/エルメスジャパン)

杏
1986年生まれ。東京都出身。
俳優・モデル。2001年にモデルとしてデビューし、雑誌、映画、ドラマなどで幅広く活躍。主な出演作品はNHK連続テレビ小説「ごちそうさん」、日テレ系「花咲舞が黙ってない」シリーズ、映画「キングダム 運命の炎」など。
2022年、日本とフランスの二拠点生活をスタート。
主演を務めたWOWOW日本×フィンランド共同製作ドラマ『連続ドラマW BLOOD&SWEAT』が配信中。

フランスと日本を行き来して 杏が綴る子どもたちとの日常 Anne

4年ほど前、俳優・モデルの杏は3人の子どもたちと犬を連れて、パリへ移住。時には日本に戻ってきたり、撮影でフィンランドに滞在したり、各地を行き来しながら暮らす日々をエッセイにしたためた。さまざまな場所で子どもを育てながら、感じていることは。

photos: Bungo Tsuchiya (TRON) / styling: Chie Atsumi (ota office)
hair: hirokazu endo (ota office) / make-up: Yuka Washizu (beauty direction)
interview & text: Saya Tsukahara

パリの生活では、街行く人たちの装いにどんな印象がありますか？

パリの街並みは建物がベージュで落ち着いたトーンなので、はっとするような赤や原色を身につけている人をよく見かけますね。鮮やかできれいだなと。東京は看板もたくさんあって街がカラフルだから、落ち着いた色を着る人が多い気がします。歴史をさかのぼって考えると、江戸時代、町人の装いに色や柄の制約があった

ことも根幹にあるのかもしれない。

移住してから、服やアイテムの選び方は変化していますか？

もともと派手な色は好きなのですが、子どもが人混みでも私を見つけやすいように赤や黄色のジャケットを着たりしています。パリはすこく歩きますし、子どもと犬がいるので、歩きやすい靴重視です。アクティブなアイテムがあるブランドもよく購入しますね。

お子さんのお洋服はどんなものを？

昨年フィンランドに行ったら、子ども服選びがすこく楽しくて。ハリネズミの写真を合成して並べていたり、なんだか変わったデザインがたくさんあるので。インパクトがあってキツユで可愛い。「マリメッコ」のような優しい色合いのものも多ありますが、そういう謎のデザインが印象的で、私は好きでした。

各地で過ごされるなかで、それぞれの言語を学んでいるのですか？

私はふだん英語を使うことが多いですね。子どもたちはフランス語の学校に通っています。語学学校に行きたいけれど、子どもの送り迎えをしたりしているとなかなか行けないですね。だから独学で、私は必要に駆られて語学を習得しているだけで、あまり向いていないのかなという思います。フィンランドの人たちはマルチリンガルで、新しい言語にトライすることにも抵抗がなかったのです。

フィンランドには、『連続ドラマW BLOOD&SWEAT』(WOWOW)の撮影で3カ月滞在されたのですね。撮影現場ではさまざまな言語が使われていたのですか？

英語、日本語、フィンランド語が行き交う感じでした。最終日の撮影

が、キャストは日本人のみ、スタッフはみんなフィンランド人だったのですが、40~50人のスタッフ全員が日本語を勉強してきて。「本番」「照明OK」など、すべて日本語で進行してくださってすこくびっくりしました。

さまざまな場所での生活は、お仕事にどう影響していますか？

文筆・演技など表現するためには、いろんなことを経験すればするほどいいなと思います。行く場所の知識を深掘りしたり、自分のルーツを考えることにつながったり。キューバに旅行したら日本人の銅像があって、日本の歴史を再認識したこともありました。現地に行かないと味わえないものもあると思います。フランスのクロワッサンはやっぱり美味しい。水なのか湿度なのか、なんか違うなど。

エッセイを2冊刊行されました。忙しい日々

のなか、どんな時に書いているのですか？

夜、一人の時間に書いています。もともと自分の考えを整理したり表現したりするのに、私は書くことがいいなと思っていて。通っていた小学校が、6年間毎日日記を書かせる学校だったので。10代の終わりにはブログ文化があって、誰かにに向けて長い文章を書くことが当たり前になっていた。そういうことを経て、今もずっと書き続けています。子どもたちはまだ読めたり読めなかったりですが、パリの暮らしを本に残せてよかったです。

4月に40歳を迎えられました。今やりたいことはなんでしょうか。

同級生の友人たちと「子どもたちが小学生になるくらいのタイミングで、1泊とかだったら予定を合わせて旅行できるのかな」と話していて。たとえば3人で食事に行くにしても、そこにそれぞれの家族の体調が関係してきてけっこう大変なんですよ。ね。「近い将来、一緒に温泉にでも行けたらいいね」と話しています。



「杏のバリ細うで繁盛記」
著: 杏
36歳で子ども3人と犬を連れ、パリへ移住した杏さん。新生活での奮闘や子どもたちの日々、アカデミー賞参加、愛犬との別れ、そして未来への思いを綴った、9年ぶりのエッセイ集。
160ページ／¥1,760(新潮社)



「杏のとことこパリ子連れ旅」
著: 杏
パリに引っ越すきっかけとなった、子どもたちとの3回の旅。子連れ旅の楽しさと大変さをビビッドに描く、軽やかな日記エッセイ。
207ページ／¥1,760(ポプラ社)

プリントが美しいシルクシャツは、ブラトップをレイヤードすることでより印象的に仕上げて。ショートパンツとアイコンクックブーツを合わせ、軽快なスタイルに。シャツ ¥900,900 ブラトップ ¥720,500 ニットパンツ ¥420,200 レザーパンツ ¥1,342,000 ブーツ ¥496,100 ネックレス ¥420,200 リング ¥800,800 時計 “ケーブコード” [SS、ケース27×20mm、クォーツ] ¥495,000 (すべてエルメス/エルメスジャパン)





Loewe バッグ"スカーフ"
[W34×H21×D8.5cm]
¥432,300 靴¥155,100
トップス、スカート[ともに参
考商品] (すべてロエベ/ロ
エベ ジャパン クライアント
サービス)

Miu Miu (右) ニット ¥693,000
アンダーウェア ¥159,500 [参
考色] 靴 ¥181,500 [すべて予
定価格] (左) ドレス ¥379,000
シャツ ¥148,500 スカーフ ¥
100,100 [すべて予定価格]
(すべてミュウミュウ/ミュウミュ
ウ クライアントサービス)

Clear Summer

涼やか&モードに決まるクリア小物

夏本番に向けて、真っ先に手にしたいのは装いを軽やかにアップデートするクリア素材のバッグやシューズ、アクセサリー。涼しげな表情とモダンさを宿した旬のアイテムをお届け。

styling: Natsumi Sato
text: Miyuki Kikuchi

1. Dior バーガンディーからベージュへのグラデーションと、アームに輝くゴールドメタルの"Dior"ロゴが太陽の日差しとマッチ。サングラス¥62,000(ディオール/クリスチャン ディオール) **2. Alaïa** クリアな質感に花々を閉じ込めたバッグは、まるで持ち歩くアートピース。バッグ"ル テケル" (W33×H11×D10cm) ¥399,300(アラリア/リシュモン ジャパン アライア) **3. Chloé** バタフライモチーフのゴールドプラスに透明の樹脂をあしらった大ぶりネックレスでサマースタイルを謳歌して。ネックレス¥160,600(クロエ/クロエ カスタマーレレーションズ) **4. Saint Laurent** この夏、人気の「Y」シリーズのトートからクリア素材が再登場。レザーとのMIXがラグジュアリーな印象を添えて。ミニポーチ付きで使い勝手も抜群。バッグ「Y」トートバッグ (W55×H22×D35cm) ¥528,000(サンローラン バイ アンソニー・ヴァカレロ/サンローラン クライアントサービス) **5. Jimmy Choo** フルーラグリーンカラーが涼しげな半透明の軽量なスリッポンミュール。ドロップヒールがエレガントな表情を醸して。サンダル[H5cm] ¥83,600(ジミー チュウ) **6. Courrèges** アッパーのクラシカルなムードと透明感溢れるモダンなヒールの組み合わせがフレッシュな表情を演出。サンダル[H3.5cm] ¥136,000(クレーージュ/エドストローム オフィス) **7. Tory Burch** 水辺で過ごす夏にぴったりなクリアバッグ。軽量でゆとりのあるコンパートメントと取り外しができるファスナー付きポーチも完備! バッグ"ロミー カラーブ ロック クリア バケットバッグ" [W22×H21.5×D9.5cm] ¥56,100(トリー パーチ/トリー パーチ ジャパン) **8. Mame Kurogouchi** 自然が作り出す造形にインスパイアされ、職人の手仕事によって生み出されたピアス。上品な光沢が顔まわりを涼しげに見せてくれる。ピアス ¥59,400(マメ クロゴウチ/マメ クロゴウチ オンラインストア) **9. Toga** レッドの花びらがアクセントを添えた彫刻作品のようなデザインは、装いにアーティスティックな存在感を与えてくれる。イヤリング ¥31,900(トーガ/トーガ アオヤマ) **10. Gianvito Rossi** イタリアで丹念に手作りされた一足はヌーディな透明感が足元を美しく演出。サンダル[H8.5cm] ¥137,500(ジャンヴィット ロッシ/ジャンヴィット ロッシ ジャパン カスタマーサービス)

Color Escape

パッションカラーが誘うヴァカンスへ

心を解き放つヴァカンスシーズンは、レッドやピンク、ブルーなどのパッションカラーが主役。色が持つポジティブなエネルギーとともに、華やかな彩りをもたらす、この夏注目のアイテムをセレクト。

styling: Natsumi Sato
text: Miyuki Kikuchi

1. Hermès ヴィヴィッドなカラーが美しいスイムウェアはハーネスにインスパイアされたレーザーバックのデザインがモードな一着。水着 ¥110,000(エルメス/エルメスジャパン) **2. Prada** 取り外しができるレザーペンダントでヘアスタイルをモダンにアップデートして。ヘアクリップ ¥119,900 [予定価格] (プラダ/プラダ クライアントサービス) **3. Louis Vuitton** カラフルなキューブを連ねたプレスレットは存在感大。大胆な色彩がシンプルな装いに個性を吹き込んでくれる。プレスレット ¥135,300(ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス) **4. Celine** メゾンを象徴するトリオンフモチーフが映えるトライアングルピクニ。無駄を削ぎ落としたミニマルなデザインが、ビーチやプールサイドでさりげなくラグジュアリーを薫らせる。トップス ¥84,700、ボトム ¥84,700 [ともに予定価格] (ともにセリーヌ/セリーヌ ジャパン) **5. Chanel** エナジーなカラーを纏ったラフィアバッグが、夏の装いにプレイフルな華やきをプラス。バッグ [W58×H70×D20cm] ¥1,356,300(シャネル/シャネル カスタマー ケア センター) **6. Loewe** バヤデルのアートワークプリントのシルクスカーフはバッグのハンドルに結んだり、ビーチサイドではトップスにアレンジしたり自由な発想で楽しめる。スカーフ [W90×H90cm] ¥79,200(ロエベ/ロエベ ジャパン クライアントサービス) **7. Jimmy Choo** 鮮やかなグリーンスエードに煌めくビーズと編み込みディテールが洗練されたシルエットと調和。リラックスしたサマースタイルにラグジュアリーなエッセンスを漂わせて。サンダル [H8.5cm] ¥149,600(ジミー チュウ) **8. Bottega Veneta** 視線を奪うカーディナルレッドのクロシェサンダル。クラフト感のある編み込みディテールをミニマルなフォルムでモードに昇華。サンダル [H4cm] ¥478,500(ボッテガ・ヴェネタ/ボッテガ・ヴェネタ ジャパン) **9. Givenchy by Sarah Burton** 陽光に映えるピンクのロングドレス。肩にあしらわれたリボンディテールと優雅に揺れるフリッツがドラマティックな存在感を放つ。ドレス ¥353,100(ジバンシィ by サラ・バートン/ジバンシィ ジャパン)



大胆に揺れるパールで
印象的な横顔を演出

高い場所から勢いよく流れ落ちる滝を
パールでダイナミックに表現したグラ
フィカルなイヤリング。フリンジ状に配し
た揺れるパールが華やかな躍動感を演
出してくれる。耳のカーブに沿うように
立体的に仕上げることで、ドラマティッ
クな雰囲気に。チェック柄のシャツスタ
イルに際立つ存在感を添えて、イヤリン
グ「ウォーターフォール」 [YG×あこや真
珠×南洋真珠 白蝶(ゴールド)] [参考
商品] (TASAKI) シャツ¥749,100
(シャネル/シャネル カスタマー ケア セ
ンター) 金属製の襟先 [参考商品]
(El Paso Booty)

Joyaux de l'Ouest 自由なる輝き

職人技が息づくメゾンのハイジュエリーを
デニムやチェックシャツなどの抜け感のある
アイテムに合わせてモダンにスタイリング。
圧倒的な存在感を放つ優美な輝きと
ウエスタンの自由なムードが響き合い、
新しいエレガンスを描き出す。

photos: DRILU & TIAGO
realization: Anna QUÉROUIL
styling assistant: Sonia Montout
model: Clara Girard (Women Paris)
photo assistant: Kader Bennacer
hair: Tié Toyama
make-up: Tina Roivainen
set design: Ettore Crobu
casting: Emile Åström (Creativt)
text: Tomoko Kawakami
YG=イエローゴールド、
PG=ピンクゴールド、RG=ローズゴールド、
WG=ホワイトゴールド、PT=プラチナ



ゴールドで描く
繊細なロープの曲線

編み込みのゴールドがしなやかなロー
プを想起させるジュエリーは、1946年
に誕生したデザインが着想源。ダイヤ
モンドが煌めく調整可能なクラスプと非
対称性が特徴のネックレスを、スエード
のジャケットにデニムという正統派のウ
エスタンスタイルで楽しんで。ネックレス
"リアヌ ロングネックレス" [RG×ダイヤ
モンド] [参考商品] (ヴァン クリーフ&
アーベル/ ヴァン クリーフ&アーベル
デスク) ジャケット [参考商品] (ボ
ロラルフ ローレン/ ラルフ ローレン) ボ
ロセーター ¥346,500 (ロエベ/ ロエ
ベ ジャパン クライアントサービス) デ
ニム [参考商品] (ラングラー) 金属製
の襟先 [参考商品] (El Paso Booty)



太陽の光を閉じ込めた
イエローダイヤモンド

「ティファニー」が誇る美しいイエローダイヤモンドは、太陽の光をそのまま閉じ込めたかのような鮮やかな輝きが魅力。温かみのある黄金色と、卓越したカットにより生まれる眩い煌めきが圧倒的な存在感を放つ。ブランドの歴史を感じさせるアイコン的なダイヤモンドの系譜を受け継ぎながら、モダンな感性で再解釈されたその輝きがシンプルな装いを格上げする。リング [PT×イエローダイヤモンド×ダイヤモンド] [参考商品] (ティファニー / ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク)



アール・デコと
大自然が出会った名作

コントラストを利かせた黒いシャツと赤いセーターのコーディネートに映えるのは、地球の深部からインスピレーションを得た貴重なコレクションの一部として発表されたハイジュエリーのネックレス。華やかなルビーや硬質な光を放つダイヤモンドをリズムカルに並べた「カルティエ」らしいアール・デコ調の幾何学的な美しさ。そこに大自然の力強さが見事に融合した洗練のデザインを堪能したい。「セラヴェッツァ」 [PT×ルビー×ダイヤモンド] ネックレス ¥963,600,000 イヤリング ¥60,588,000 [ともに参考価格] (カルティエ / カルティエ カスタマー サービス センター) セーター ¥257,500 シャツ ¥214,500 スカート ¥462,000 [すべて予定価格] (すべてブラダ / ブラダ クライアントサービス)



カラーをミックスして
プレイフルな手元に

1920年代のアメリカの華やきを思わせる「ブチェラッティ」のカクテルリング。きらめく色石と緻密なゴールドワークのリングたちは眺めているだけでも高揚感を誘う。5つのリングを重ねることで、デニムの装いに大胆でプレシヤスな遊び心を一挙。(左から)「ヴァンテージコレクション」[WG×PG×ダイヤモンド]【参考商品】「ジャルディーノ・ティ・ブチェラッティ」[WG×PG×ダイヤモンド×トハース] ¥43,670,000 「バンドリング ブチェラッティ」[WG×YG×ダイヤモンド] ¥13,585,000 「ダイヤモンド カクテル」[WG×PG×YG×ファンシーカラーダイヤモンド×ダイヤモンド] ¥250,580,000 「バンドリング ブチェラッティ」[YG×WG×ダイヤモンド×エメラルド] ¥5,830,000 [すべて参考価格] (すべてブチェラッティ) ジャケット、ジーンズ [ともに参考商品] (ともにリーバイス / リーバイ・ストラウス ジャパン)



眩い星屑の輝きを
ネックラインに纏う

夜空を駆ける彗星の軌跡を描いたネックレスは、1932年にガブリエル・シャネルが発表した伝説のハイジュエリーコレクションを象徴するコメットモチーフを継承したもの。星屑のように輝くダイヤモンドが流れるようなラインを描き、ネックラインをエレガントに彩る。カジュアルなグレーのボロシャツに合わせることで、その繊細な煌めきと存在感が際立つ。スタイルをモードにアップデートしてくれる。ネックレス「コメット コレクション」[WG×ダイヤモンド] ¥37,070,000 [参考価格] (シャネル / シャネル カスタマーケア センター) ボロシャツ【参考商品】(Stella McCartney×H&M) 金属製の襟先【参考商品】(El Paso Booty)

THE ROW

「ザ・ロウ」の新たな名品

優美な佇まいで魅了する“アグネス”

ミニマルなデザインながら独特のシェイプが小粋なセンスを物語る、「ザ・ロウ」の“アグネス”。洗練を極めたバッグは、デイリーからオケージョンまで幅広いシーンになじみ、毎日のスタイルを格上げしてくれるリュクスな相棒に。

photo: Hiroko Matsubara
styling: Natsuko Kaneko
realization: Shiho Armano



シックなブラックレザーなら
オールマイティに活躍

新たな定番バッグとして注目を集める、“アグネス”。少しくタツとしたシルエットが特徴のトッパハンドルバッグは、ほどよいカジュアルさがあり、着こなしにこなれた印象を添えてくれる。タイムレスに愛用するなら、上品なツヤのある黒のレザーを選びたい。バッグ“アグネス” [W31×H23×D10.5cm] ¥763,400 (ザ・ロウ/ザ・ロウ・ジャパン)

キャンバス素材ならではの
軽やかなルックスが魅力

オフホワイトのキャンバス地×黒レザーのコンビネーションが絶妙な、これからの季節におすすめのデザイン。目の詰まったコットンキャンバスなので、ラフになりすぎず、エレガントな雰囲気を出す。やや大きめのサイズ感で、収納力もたっぷり。実用性も申し分なし。バッグ“アグネス” [W38.5×H22×D21cm] ¥745,800 (ザ・ロウ/ザ・ロウ・ジャパン)

*阪急うめだ本店2階の「ザ・ロウ」ハンドバッグストアがスペースを拡張し、7月3日、新たにリニューアルオープン。

獅子座 7月23日~8月24日 7月は発展 拡大を促す木星があなたの元で本格的に発動し始める幕開けの時、12年に1度のラキータウンを操縦していくために、まずは思考をクリアに、内側を静かに整えていく。



2026 Watch Trend

クラフト、ジュエリーライク、色彩で魅せる
美しさを刻む、最新ラグジュアリーウォッチ

時計は今、時を告げる道具を超え、感性を映すラグジュアリーへと昇華。

トップウォッチメジンの最新作から、アートのような職人技、ジュエリーライクな輝き、魅惑のブルーダイヤル、進化したスケルトンなど、注目のトレンドを厳選してお届け。

YG=イエローゴールド、PG=ピンクゴールド、RG=ローズゴールド、WG=ホワイトゴールド、PT=プラチナ、SS=ステンレススティール



Time meets Art アートピースの域へ

1.メゾンを代表するウォッチのひとつ「トーチ」に、バンテールのエナメル装飾が施された世界100本限定の特別なモデル。時計「トーチ」バンテール メティエダール ウォッチ [WG×エメラルド×オニキス、アリゲーターストラップ、ケース43.7×34.8mm、手巻き] ¥23,892,000 [予定価格/7月発売予定] (カルティエ / カルティエ カスタマー サービスセンター) 2.シンボリックな「セルペンティ」のフォルムに、彩りに溢れた希少な色石122石をセッティング。時計「セルペンティ エテルナ」 [PG×ダイヤモンド×ルベライト×アマシスト×トパーズ×エメラルド×トルマリン×ピンクサファイア×タンザナイト×パラライ×ツツボライ×スベサルタイト×ピンクトルマリン×アクアマリン×ブルーサファイア×ペリドット、ケース幅24mm、クォーツ] 価格お問い合わせ (ブルガリ/ブルガリ・ジャパン) 3.1934年に誕生したブレゼットを連想させるデザインを再解釈。サファイアの鮮やかな輝きに魅せられる。時計「ルド シークレット」 [YG×サファイア×ホワイトマザーオブパール、ケース49×25mm、クォーツ] ¥27,324,000 (ヴァン クリーフ&アーベル / ヴァン クリーフ&アーベル ル デスク) 4.日本の繊細な美しさをインスピレーション源に、エナメル技法とスノーセッティングで緻密に表現。時計「レベロン・ワン・サクラ」 [WG×グラン・フォー・シャンルヴェ・エナメル×ダイヤモンド×サファイア×マザー・オブ・パール、アリゲーターストラップ、ケース40×20mm、手巻き、限定20本] 価格お問い合わせ (ジャガー・ルクルト) 5.ダイヤモンドとゴールドで緻密な織りの質感を見事に表現したツイードのスーツを纏ったマドモアゼルが文字盤から浮かび上がるデザイン。時計「ガブリエル ウォッチ」 [WG×ダイヤモンド×ブラックラッカーオニキスプレート、グログラン ストラップ、ケース径43mm、クォーツ、世界10本限定] ¥48,510,000 (シャネル / シャネル カスタマー ケア センター) 6.カラスとキツネの寓話からインスピレーションを得たオートマタン (からくり) 機構とハンドエングレービングの装飾が美しい芸術的なコンプリケーションウォッチ。時計「5249R」 [RG、アリゲーターストラップ、ケース径43mm、自動巻き] ¥65,120,000 (パテック フィリップ / パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター) 7.潮水によって磨かれた小石をイメージする有機的なフォルムに天然石のダイヤル。その輪郭に合わせてムーブメントを設計し独創的な造形を表現。時計「エタプリスル ガレ」 [YG×ターコイズ×タイガーアイ、ケース径31mm、手巻き] 価格お問い合わせ (オーデマピゲ / オーデマピゲ ジャパン) 8.ルーヴル美術館とのパートナーシップによるコレクションの新作。古代ローマ文明に着想を得て、高度な工芸技法で歴史的傑作を再現。時計「メティエ・ダール 偉大な文明へ敬意を表して-インス神殿のテペレ」 [PG、アリゲーターストラップ、ケース径42mm、自動巻き、世界限定15本] ¥32,780,000 (ヴァンショロン・コンスタンタン)

吸い込まれるような輝きに満ちたコレクション

1999年にニューヨークで誕生した「アショカダイヤモンド」は、異なる2つの輝きを融合させた独自の煌めきが特徴。細長いストーン中心部には透き渡るような透明感があり、コーナー部分には細かなファセットを施すことで華やかな雰囲気仕上げています。(上から時計回り)トータル62面のファセットがドラマティックな輝きを生み出す「アショカダイヤモンド」を贅沢にあしらった「和光」オリジナルのジュエリー。故事成語の「明鏡止水」から着想を得たコレクションのリングには、5石の「アショカダイヤモンド」があしらわれている。リング「ASHOKA® KYO」 [PT×ダイヤモンド] ¥2,750,000 静かに澄んだ水面をセンターストーンで表現したデザイン。ネックレス「ASHOKA® KYO」 [PT×ダイヤモンド] ¥1,529,000 ドアノックからインスパイアされた「ASHOKA® KNOCKIN」。「アショカダイヤモンド」を起点に、軽やかに揺れ動くサークルモチーフが、胸元に上品に彩って。ピアス「ASHOKA® KNOCKIN」 [PT×ダイヤモンド] ¥1,331,000 幸運のメッセージが込められたアミュレットジュエリー。リズムカルに連なる5つのモチーフが、新たな扉を開き、未来に踏み出そうとする人の気持ちを後押しして。ネックレス「ASHOKA® KNOCKIN」 [PT×ダイヤモンド] ¥4,730,000 (すべてWAKO×ASHOKA® / 和光)

Event

「アショカダイヤモンドジュエリーコレクション」
会期：7月1日(水)まで
会場：和光 本店2階
ボリューム感のあるメタルにアショカダイヤモンドをセッティングした新作が登場。華やかな煌めきを放つコレクションが揃うこの機会に、ぜひ足を運んで。



WAKO 「和光」が贈るタイムレスな輝き 光彩を放つアショカダイヤモンド

62面のファセットが織りなす独創的かつ優美な煌めきを放つ「アショカダイヤモンド」。 「和光」だけで手に入るモダン&リュクスな2つのコレクションと、洗練を極めたダイヤモンドの魅力に迫る。

photo: SHINMEI (SEPT)
realization: Asaka Ikeda





Golden Time 今再び注目のゴールドウォッチ

1.ブランド初の防水腕時計として1926年に誕生した「オイスター」の100周年を讃える新作。ゴールドケースに鮮やかなグリーンカラーダイヤルと天然石インデックスを組み合わせ、気品ある佇まいを見せる。時計「オイスター パーベチュアル 28」[YG、ケース径28mm、自動巻き]¥4,687,100[予定価格・今夏発売予定] (ロレックス/日本ロレックス) 2.1904年誕生の名作がさらに進化。まるでジュエリーのようにしなやかなイエローゴールドブレスレットが、手首に優雅に寄り添い、洗練された存在感を放つ。時計「サントス デュモン」ラージモデル[YG、ケース径43.5×31.4mm、手巻き]¥8,184,000 (カルティエ/カルティエ カスタマー サービスセンター) 3.2024年に登場した「ロイヤル オーク」最小モデルより、新作が登場。イエローゴールドとホワイトマザーオパールとの調和が美しいジュエリーライクな一本。時計「ロイヤル オーク ミニ クォーツ」[YG、ケース径23mm、クォーツ]¥5,280,000 (オーデマピゲ/オーデマピゲ ジャパン) 4.建築的なフォルムと超薄型の美学を受け継ぐ「オクト フィニッシモ」が37mmケースで進化。革新的な機構と軽やかな着け心地を備えたモデルに。時計「オクト フィニッシモ」[YG、ケース径37mm、自動巻き]¥7,535,000 (ブルガリ/ブルガリ・ジャパン) 5.30mmの洗練されたケースに、「オメガ」の先進ムーブメントを搭載。ベゼルにもインデックスにもダイヤモンドがあしらわれ、気品溢れる魅力を放つ。時計「シーマスター アクアテラ30MM」[ムーンシャイン™ゴールド×ダイヤモンド、ケース径30mm、自動巻き]¥6,776,000[7月1日からの新価格] (オメガ)



Beyond Timepieces 手首にとどまらないデザイン

6.八角形のブラックのラインと全体を覆う眩いダイヤモンドが印象的なシークレットリング。トップのダイヤモンドを回転させることで文字盤が現れ、2つの顔を楽しめる。時計「ブルミエール COCO GAME リング」[WG×ダイヤモンド、ケース径19.7×15.2×8.9mm、クォーツ] ¥39,160,000 (シャネル/シャネル カスタマー ケア センター) 7.咆哮するライオンを緻密なウッドマルケトリで表現したポケットウォッチ。首から下げて纏うスタイルが、時計の新たな可能性を物語って。時計「スリム ドゥ エルメス ポケット ROAAAAAR!」[WG×エナメル文字盤、ウッドマルケトリによるカバー付き、ケース径45mm、自動巻き、世界限定3本] ¥32,934,000 [予定価格] (エルメス/エルメス ジャパン) 8.1969年に発表された伝説的なソートワールを新たに再解釈。天然石から掘り出した小石型ケースと揺れるゴールドチェーンが時間を優雅に彩る。時計「スウィングング ベブル」(左から) [WG×ピーターサイト、ケース径21.4mm、クォーツ] ¥15,136,000 [YG×タイガースアイ、ケース径21.4mm、クォーツ] ¥12,144,000 [PG×ヴァーダイト、ケース径21.4mm、クォーツ] ¥12,144,000 (すべてピアジェ/ピアジェ コンタクトセンター)

© Cartier © Valentin Abad



1



2



3



4



5

進化を続ける腕時計がジュエリーに最接近

➤ 数年、毎年浮上するウォッチトレンドに「ジェンダーレス」があるが、今年ほどはつきりとその傾向が現れたことはないだろうか。もはやメンズ、レディースと分けて新作を打ち出すメゾンはほとんどなく、直径36~38ミリの男女ともに着けやすいサイズが数多く揃ったのは大きな特徴だ。

また、イエローゴールドの復権も目覚ましい。このところ金の価値が急激に上がり続けているため、とびきりラグジュアリーなイメージがイエローゴールドに加わったのだ。シャイニーに磨き上げられたイエローゴールドの輝きは、ある意味ダイヤモンドに負けないくらい華やかでゴージャス。煌めくブレスレットウォッチは、心を明るく浮き立たせて前向きな気持ちにしてくれる。

さらに熱い視線が集まっているのは、ジュエリーのデザインとリンクしたスタイリッシュなウォッチの数々だ。「カルティエ」の新しい「ベニューワール」には「クラッシュドゥ カルティエ」でおなじみのクルドゥパリのモチーフがあしらわれ、「ブルガリ」の「セルペンティトボガス スタッズ カプセル」はお揃いのネックレスやブレスレットと同じスタッズがアクセントとしてあしらわれている。「ティファニー」からも名品「16 ストーン」のジュエリーとともに着けたいようなウォッチが登場。こうしたジュエリーたちの新作は、全身のコーディネートの中でジュエリーとウォッチをどう組み合わせるかという、これまでにない楽しみ方を提起してくれる。

そして時計が手首という場所から飛び出し、新たな可能性を見出そうとしているのも、ちょっとしたトレンドといえそうだ。ペンダントやリング、チャームなど、手首以外を飾るウォッチは、どれも新鮮で魅力的。現代のウォッチはもはや時刻を知るためのツールではなく、自分らしさを表現するアイテムでもあるのだから、手首にとどまることのないデザインの進化は心から歓迎したい。

時計・ジュエリージャーナリスト 本間恵子

Jewelry Inspired ジュエリーのデザインとリンク

1.メゾンの伝統的な装飾技法「クルドゥパリ」のモチーフを継ぎ、"ベニューワール"のバングルモデルを再解釈。構築的で幾何学的なデザインが新しい魅力を引き立てて。時計「ベニューワール」(左) [YG×ダイヤモンド、ケース径24.6×19.3mm、クォーツ] ¥10,824,000 (右) [YG、ケース径24.6×19.3mm、クォーツ] ¥3,841,200 (ともにカルティエ/カルティエ カスタマー サービスセンター) 2.蛇のモチーフにスタッズのエッジを利かせた最新作。ゴールドとスチールが織りなす大胆な美しさで、アイコンウォッチをより現代的に刷新。時計「セルペンティトボガス スタッズ カプセル」[SS×YG×マラカイト、ケース径35mm、クォーツ] ¥2,453,000 [9月発売予定] (ブルガリ/ブルガリ・ジャパン) 3.ジャン・シュランバジェの名作ジュエリーから着想。ダイヤモンドが連なるXモチーフとマザーオパールの文字盤が気品を添えて。時計「Sixteen Stone by Tiffany」[WG×YG×ダイヤモンド×ホワイトマザーオパール、アリゲーターストラップ、ケース径36mm、クォーツ] ¥21,945,000 (ティファニー/ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク) 4.アシンメトリなフローラルモチーフのダイヤモンドベゼルが優雅な輝きを放つ。卓越した時計技術とジュエリーの美が融合した一本。時計「ルールドゥディアマン」[エシカルWG×ダイヤモンド×マザーオパール、ケース径29.5×33.3mm、手巻き] ¥12,155,000 [参考価格] (ショパール/ショパール ジャパン プレス) 5.ファインジュエリー「カラープロッサム」の世界観を映したタイムピース。色彩豊かなストーンとモノグラム・フラワーを象ったケースが手元に映える。時計「カラープロッサム」[RG×ホワイトマザーオパール、カーフストラップ、ケース径26mm、クォーツ] ¥1,771,000 (ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス)

2026 Watch Trend



Skeleton Evolution スケルトンウォッチの新時代

1.音で時刻を告げるミニッツリピーターを搭載し、馬の頭部を象った文字盤のオープンワークからその複雑機構を覗かせる。時計「アルソー ミニッツリピーター サマルカンド」 [PG×ダイヤモンド、アリゲーターストラップ、ケース径38mm、自動巻き] ¥48,543,000 [予定価格] (エルメス/エルメスジャパン) 2.明瞭のコントラストが織りなす美しさを表現し、ムーブメントの歯車がモダンに調和。時計「J12 X-RAY COCO GAME」 [サファイアクリスタル×ブラックコーティングしたWG×ダイヤモンド、ケース径38mm、手巻き、世界12本限定] ¥144,760,000 (シャネル/シャネル カスタマー ケア センター) 3.時・分・秒を示す3枚のスケルトンディスクそれぞれが優雅に回転し、万華鏡のように表情を変えて。時計「トリプル ミステリースケルトン」 [PG×ダイヤモンド、クロコダイルストラップ、ケース径39mm、自動巻き] ¥17,336,000 [予定価格] (フランク ミュラー/フランク ミュラー ウォッチランド東京) 4.「ゼニス」を象徴するキャリパー「エル・プリメロ」をスケルトン仕様で表現。スモークブラックのサファイア文字盤が神秘的な限定生産10本のモデル。時計「クロノマスター スポーツ スケルトン」 [RG×ダイヤモンド、ケース径41mm、自動巻き] ¥14,927,000 (ゼニス/ LVMHウォッチ・ジュエリージャパン ゼニス) 5.円と正方形を融合したフォルムが特徴の「エルメスH08」にスケルトンモデルが登場。チタンケースの奥で新しいムーブメントが躍動し、視線を時間の深部へと誘う。時計「エルメスH08」 [チタン、ラバーストラップ、ケース径42×39mm、自動巻き] ¥3,465,000 [予定価格] (エルメス/エルメスジャパン) 6.音を奏でるミニッツリピーターとトゥールビヨン。時計製造における最高峰の機構を大胆に見せるスケルトン構造に卓越した職人技が宿る。時計「エンデバー・ミニッツリピーター シリンドリカルトゥールビヨン スケルトン」 [チタン、アリゲーターストラップ、ケース径40mm、手巻き] ¥70,785,000 [予定価格] (H.モーザー)

Watches & Wonders Geneva 2026 過去最大規模で開催された時計界の祭典



毎春、世界のトップ時計メゾンが一堂に会し、その年の時計界を象徴する新作を発表する世界最大級の時計見本市「ウォッチズ&ワンダース ジュネーブ」。前半は業界関係者やメディア向けに開催され、後半は一般公開されるため、近年は世界中の時計愛好家が集う一大イベントへと成長している。2026年は過去最多となる65ブランドが参加し、来場者数は約6万人を記録した。今年の新作は洗練された2針・3針モデルや超薄型ウォッチ、美しく進化したスケルトンウォッチ、小径ケースなど、時計本来の魅力に立ち返るモデルが充実。卓越した職人技術、チタンやセラミックなどの新素材も注目を集めた。会場では若い世代やファミリー向けの教育企画、スタートアップによる革新的なプロジェクトを紹介する「LAB」も充実し、伝統技術の継承と未来への挑戦を発信。さらに熱気は街全体へ広がり、ライブコンサートやジャズイベント、体験型ワークショップも開催。時計文化の現在と未来、その両方を体感できる特別な1週間となった。

1.会期中は街の各所でイベントなどが開催され、ジュネーブの街が華やかな熱気に包まれた 2.一際大きな展示スペースを構え、常に来場者が絶えない「カルティエ」のブース 3.毎年大きな注目を集める「ロレックス」のブースではアイコンウォッチの誕生100周年モデルの発表が話題に 4.各メゾンの世界観を表現する壮大なインスタレーションを見るのも楽しみの一つ。毎年、没入型の幻想的な演出で訪れる人々を魅了する「ヴァン クリーフ&アーベル」 5.イノベーションや職人技の実演に特化したワークショップや体験型のアクティビティも充実。若年層の来場者も多く、教育的な側面や文化的な場としての存在感を強めているという



Into the Blue 海や宇宙を思わせる 神秘的ブルー

1.「ノーチラス」誕生50周年を祝う限定1000本の特別モデル。象徴的な水平エンボスのブルー・ソレイユ文字盤を備えながら、薄型でより洗練された仕上がり。時計「ノーチラス 5810/1G」 [WG、ケース径41mm、自動巻き、限定1000本] ¥15,260,000 (パテック フィリップ/パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター) 2.旅と冒険の精神を宿す「オーヴァーシーズ」コレクションの新作。方位磁針の四方位を表現した4色のラインナップから、青い空と海を表現する「東」を選んで。時計「オーヴァーシーズ・デュアルタイム・カーディナルポイント・東」 [チタン、チタンプレスレットに付け替え可能なラバープレスレット(ブルー、オレンジ)付き、ケース径41mm、自動巻き] ¥6,512,000 (ヴァシュロン・コンスタンタン) 3.ゴールドピースで縁取られたケースに、ミッドナイトブルーのムラノ アンチチュリンガラスの文字盤が美しく映えて。時計「ベルレ」 [WG×アンチチュリンガラス×ダイヤモンド、アリゲーターストラップ、ケース径23mm、クォーツ] ¥3,801,600 (ヴァン クリーフ&アーベル/ヴァン クリーフ&アーベル ル デスク) 4.1960年代の自由な精神を映す「SIXTIE」。優雅な台形ケースに美しい縞模様を描くブルーオーツ文字盤を合わせ、ジュエリーウォッチの魅力を実際させる。時計「SIXTIE」 [PG×ブルーオーツ、アリゲーターストラップ、ケース径29mm、クォーツ] ¥3,388,000 (ピアジェ コンタクトセンター) 5.作家サン＝テグジュベリの遺族との20年にわたるコラボレーションを記念した特別モデル。「星の王子さま」に着想を得た深いブルーの文字盤と裏蓋に描かれた愛らしいイラストが印象的。時計「SS、カーフスキンストラップ、ケース径36mm、自動巻き」 ¥832,700 (IWC シャフハウゼン) 6.28mmサイズでエレガントに進化した新モデル。光で駆動するソーラーグラフを搭載し、洗練された美しさと冒険心を両立。時計「タグ・ホイヤー アクアレーサー プロフェッショナル100 ソーラーグラフ」 [SS×ダイヤモンド、ケース径28mm、ソーラークォーツ] ¥434,500 (タグ・ホイヤー/ LVMHウォッチ・ジュエリージャパン タグ・ホイヤー) 7.年差±20秒の高精度と「グランドセイコー」のダイバースウォッチで最小のケース径を実現。潮の流れをイメージしたカラーグラデーションが美しい。時計「Evolution 9 Collection スプリングドライブ U.F.A. Ushio 300 Diver」 [ブライトチタン、ケース径40.8mm、自動巻き] ¥1,650,000 (グランドセイコー/セイコーウォッチお客様相談室) 8.ブルーマザーオブパール文字盤に星のように輝くダイヤモンドのインデックス、ムーンフェイスを備え、天空の神秘的な力を映し出す。時計「ロンジン プリマルナ」 [SS×ダイヤモンド×ブルーサファイア、アリゲーターストラップ、ケース径34mm、自動巻き] ¥993,300 (ロンジン)

射手座sagittarius 11月22日~12月21日★7月の前半は協力を受けやすい時、大切な人との関係を築いていくこの機会を大事に。後半、23日以降は物事の優先順位がクリアになり、曖昧に混線していた状況が解消される流れ。

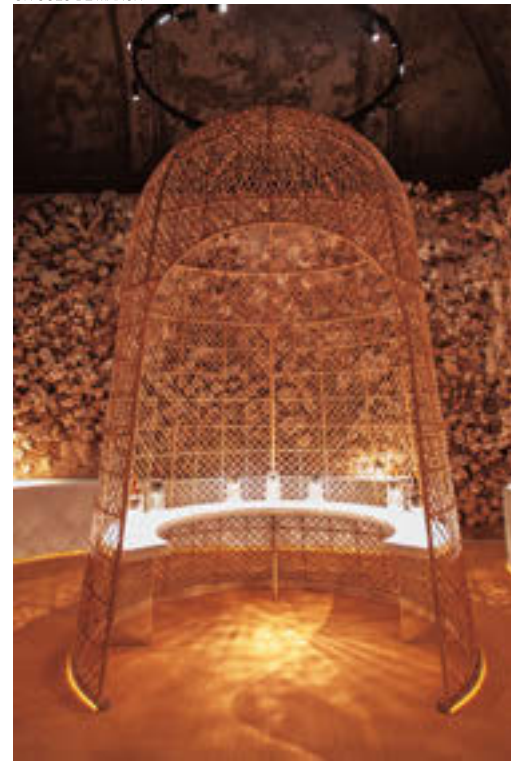
蠍座scorpio 10月23日~11月21日★これまでの思い込みを飛び越えて自分を大胆に試してみる。このツギを呼ぶ。興味が薄かった事柄を取り入れてみることで、古い殻を脱ぎ捨てるような新しい刺激がもたされる流れ。



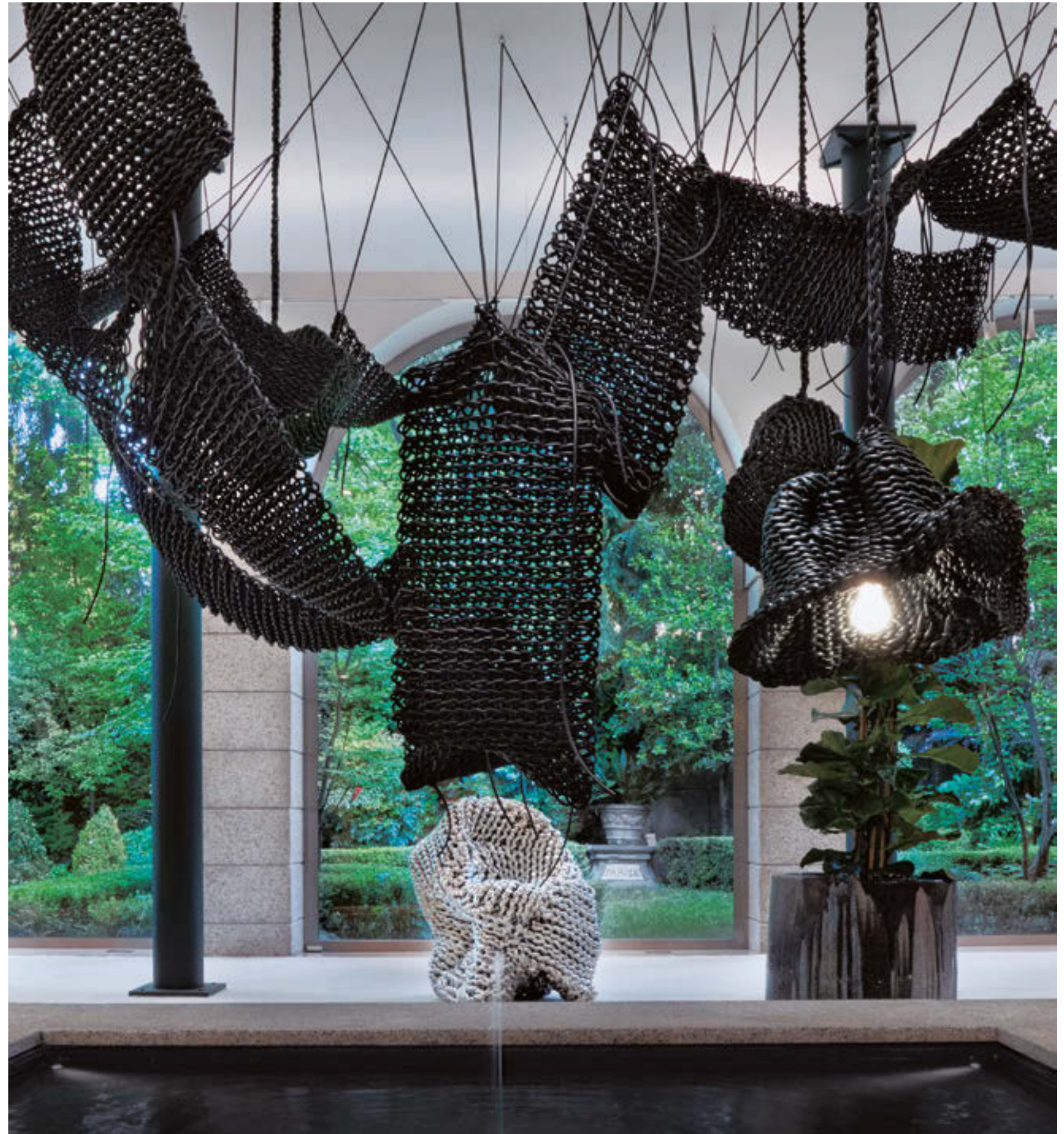
パラッツォ・セルベローニにて幾何学的な作品で知られるアーティスト、ピエール・ルグランにオマージュを捧げたコレクションを発表した「ルイ・ヴィトン」



「グッチ」はミラノ中心部に位置する歴史的建造物を舞台に、105年にわたるブランドの軌跡をたどるタペストリーを展示するエキシビションを開催



「ニュールック」へのオマージュを込めた新作「コロール」ランプを発表した「ディオール」が、幻想的なセノグラフィーと共に職人技の魅力を披露



韓国人アーティストのイ・カンホとのコラボレーションによるインスタレーションを開催した「ボッテガ・ヴェネタ」。空間に浮かぶように吊り下げられた編み込みの構造体に光と影を重ね合わせたダイナミックな表現

家具見本市から複合的文化のプラットフォームへ

「ミラノサローネ(Salone del mobile.Milano)」(以下サローネ)は1961年に家具産業振興を目的として創設され、イタリアデザイン国際的地位を確立する中心的イベントへと成長した。1980年代以降は海外ブランドの傘下拡大によりグローバル化が進み、現在ではミラノ全体を巻き込む「ミラノ デザイン ウィーク」として世界的な認知を受けている。2026年のサローネ参加件数は約1900。フェアと呼ばれるサローネの主会場を訪れた人の数は約31万人。昨年より4.3%増えている。

サローネと共にこの構造を支えているのが「フォーリサローネ」である。「フォーリサローネ」は公式展示会場フェアとは異なって、ミラノ市内の画廊や歴史的建築物内、ショールーム、工場跡、路地空間などを舞台に、企業やデザイナー、建築家等が、自主的に展開する分散型イベント群である。統一された主催者を持たずテーマも会場も多様であることから、サローネ本体が「産業見本市」であるのに対し、「フォーリサローネ」は「都市全体に及ぶ文化実験場」として機能している。近年では、来場者の多くがこちらを目的に訪れるほどに重要性が高まっている。

サローネの近年の全体傾向として最も重要なのは、「製品中心」から「文化、体験中心」への転換である。もはや、評価軸は家具単体の機能や造形ではなく、空間体験、物語性、持続可能性等の思想性となり、従って展示はインスタレーション化している。住まい、アウトドア、さらには持続可能性、素材研究、クラフトの再評価が共通テーマとして浮上り、デザインはまさに産業から文化的実践へと変容している。

近年サローネへの参加が一般化しつつある高級ファッションブランドは、こうした流れを如実に示している。「ブラダ」や「ミュウミュウ」は、文学者や思想家によるトークイベントを実施し、ブランドを文化的な媒体として提示した。「グッチ」は、サンシプリチャーノの広い回廊の壁面に、昔の絵画を現代の暮らしに置き換えて表現し直した織物を展示した。「ルイ・ヴィトン」は、1920年代にアーティストのピエール・ルグランと協業したアーカイブを土台に、様々な暮らしのデザインを発表。「ディオール」は、複数の職人の14日間に及ぶ手仕事の成果たる、葎

で編んだ植物を張り巡らせた空間を見せた。「ボッテガ・ヴェネタ」は、銀色のアルミと黒く染めた皮革という2種の素材の対比を強調した展示を通じてアルミの家具を提示した。「アルマーニカーザ」は静謐な生活の美学を見せることで東洋の影響を漂わせ、「ジル サンダー」は、コンセプチュアルなミニマリズムのアートの展示を見せた。「エルメス」は白を基調としたシンプルな空間で、新作のオブジェにフォーカスをあてた展示を展開していた。

和の文化への関心を示す今回のサローネでは、日本勢も高い注目を集めていた。

京都の細尾は、アーティストで音楽家でもあるカールステン・ニコライと組んで西陣織を空間のインスタレーションへと展開し、音と組ませて伝統技術の現代的な構築を見せた。同じ京都の「龍村」は織物の美学を空間の装飾に展開し、伝統技術の再解釈を試みた。「グランド セイコー」は、時間の概念の可視化を提案。「カリモク」が、卓越した木工技術による、温もりのある家具を発表すれば、「タイムアンドスタイル」は、低めで大型のソファによってのびのびとした住空間を作り上げた。「イッセイ ミヤケ」は生産工程に不可欠な大量の使用済みの紙を利用したオブジェ各種をブティック空間内に展示。これらの白い彫刻は、素材といい、不定形なフォルムといい、日本を語るものであった。

今年度のサローネのニュースは「サローネ・ラリタス」という部門が新たに追加されたこと。ここではコレクティブデザインや一点ものの作品あるいは骨董家具を扱う。アートとデザインおよび骨董品の境界領域を扱う部門として新設されたものである。また、もうひとつの新設部門「コントラクト」は、ホテル、オフィス、公共空間などの大規模案件領域を扱い、住宅中心の家具産業から都市や建築などへの拡張を示す枠組みとして新たに用意された。

総じて、2026年度のサローネは、家具見本市というこれまでの枠組みを越えて、プロダクト、ファッション、アート、建築、都市にまたがる複合的文化のプラットフォームへと進化している。今や、その中心には、物ではなく、意味と体験を価値とする新しいデザイン観が君臨し始めたようだ。



「エルメス」は30の直方体が街のように並ぶ会場で、メタルにフォーカスをあてた新作を発表。職人技と素材美が響き合う詩的な空間を創出した



ミラノサローネに新企画として登場した「サローネ・ラリタス」。限定作品や希少なデザインを集め、クリエイターと世界のプロフェッショナルをつなぐ場となる。写真は「MARTA SALA EDITIONS」の展示

MILANO DESIGN WEEK

世界の創造力がここに集う

文化へと進化する「ミラノ デザイン ウィーク」2026

家具の見本市として始まったミラノサローネは、今や街全体を巻き込む文化イベントへと進化を続けている。ファッションメゾンから伝統工芸まで、多彩な表現が街中に広がった2026年の「ミラノ デザイン ウィーク」から、体験や物語を重視する新たな価値観、今注目すべきデザインの潮流をお届け。

text: Miyuki Yajima

OMEGA

「オメガ」「スピードマスター」のタイムレスな魅力 宇宙への情熱を手元に

人類初の月面着陸を見届けた伝説の“ムーンウォッチ”として知られる「オメガ」の「スピードマスター」。確かな歴史を受け継ぎながら更なる進化を続ける、ブランドを象徴するコレクションに迫る。

text: Tomoko Kawakami

1 957年の誕生以来、「オメガ」の“スピードマスター”は時計史にその名を刻み続けてきた。なかでも1965年、極端な温度変化や衝撃、振動、真空環境といった過酷なテストを唯一クリアし、NASAの有人宇宙飛行計画の公式装飾品に認定されたことは、その高い実力を世界に知らしめる大きな転機に。その後、アポロ計画やジェミニ計画に挑み、未知の領域を切り開いてきた宇宙飛行士たちに愛用され、1969年には人類初の月面着陸という歴史的瞬間にも立ち会った。そして、それ以来、“ムーンウォッチ”の愛称で親しまれるように。昨年はNASA認定60周年という節目を迎え、改めてその偉業に注目が集まった。

そんな伝説を持つ一方で、“スピードマスター”は常に時代に合わせて進化を続けてきた。定番として愛される42mmの“ムーンウォッチ”はもちろん、近年は38mmモデルも登場。クロノグラフとしてのスポーティな個性を受け継ぎながら、より洗練されたサイズ感によって男女を問わず楽しめるコレクションへと広がりを見せている。宇宙開発の歴史とともに歩んできた確かな信頼性、そして現代のライフスタイルやモダンな装いにも馴染むデザイン性。その両方を兼ね備える“スピードマスター”は、「オメガ」を代表するコレクションとして、世代や性別を超えて愛され続けている。



宇宙飛行士のバズ・オールドリンが月面歩行中、オメガの「スピードマスター」を腕に巻いていたことは、時計史を語る上で欠かせないエピソード



NASA認定の“ムーンウォッチ”に採用されるヘサライト風防には、プラスチックの一種を採用。割れても破片が飛び散りにくく、宇宙飛行士や機材の安全性に配慮した仕様として知られている。時計「スピードマスター ムーンウォッチ」[ステンレススチール、ヘサライト風防、ケース径42mm、手巻き]¥1,111,000 (オメガ)

フルゴールドケースを採用した贅沢なモデルにも注目。さらに90石ものフルカットダイヤモンドをバグゼットに施した華やかなモデルも。ユニセックスで楽しめる“スピードマスター”の魅力を実現するピース。時計「スピードマスター 38」(左) [18Kイエローゴールド、アリゲーターストラップ、自動巻き] ¥1,232,000 (右) [18Kセドナ™ゴールド×ダイヤモンド、アリゲーターストラップ、自動巻き] ¥3,720,000 (ともにオメガ)

お問い合わせ先: オメガ 0570-000087 www.omegawatches.jp

information



吉高由里子さんが案内する「marie claire TV」 「オメガ」の本拠地スイス・ビエンヌへ

『marie claire』ならではの視点で世界の多彩なテーマを特集するBS日テレの番組「marie claire TV」。6月6日に放送された「～オメガ 時を刻む真髄～」では、俳優の吉高由里子さんがスイス・ビエンヌの「オメガ」本社とミュージアムを訪問し、ブランドの歴史とクラフツマンシップに触れる旅を紹介した。ミュージアムでは、「スピードマスター ムーンウォッチ」をはじめとする歴史的なタイムピースを通して、「オメガ」が歩んできた軌跡を体感。さらに時計製造の現場では、精緻な技術と職人たちの真摯なものづくりの姿に触れ、ブランドの高い技術力への理解を深めた。最新コレクションも紹介しながら、歴史、技術、デザインが融合する「オメガ」の世界観を伝える内容となっている。



BS日テレ「marie claire TV」 「～オメガ 時を刻む真髄～」

番組動画は、現在、民放公式テレビ配信サービス「TVer (ティーバー)」の見逃し配信で7月3日(金) 23:59まで視聴可能。また、marie claire digitalにて7月4日(土)から12月31日(木)まで番組動画を公開。下の二次元コードからアクセスを。



※本誌5月28日発行号におきまして、BS日テレの放映時間の記載に誤りがありました。謹んでお詫びいたします。

MILANO DESIGN WEEK

「ミラノ デザイン ウィーク」発、空間を彩る新しいラグジュアリー

素材やクラフト、物語性へのこだわりが生む新しい美意識を語るクリエイション。「ミラノ デザイン ウィーク」で発表された新作の中から、空間に美しい存在感を添える注目のデザインピースをセレクト。



©EDUARD SANCHEZ RIBOT

1



©Charles Nègre

3

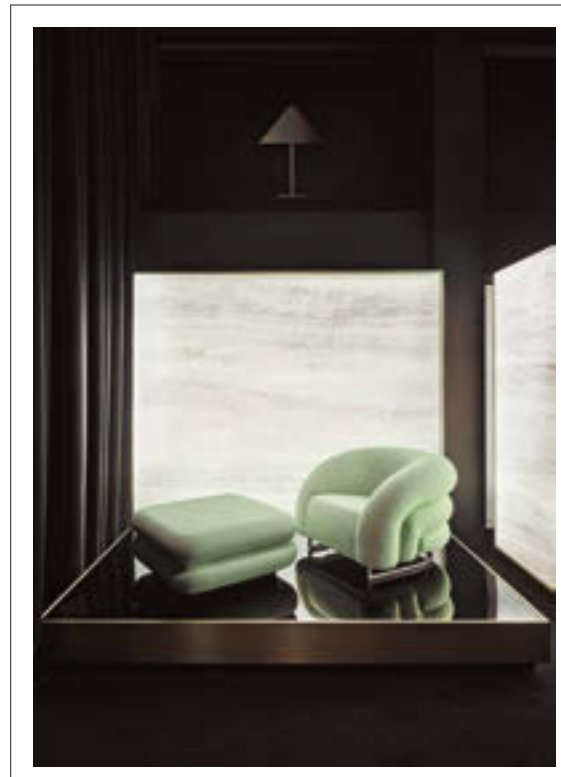


©Louis Vuitton

2



4



Credit Giulio Ghirardi

5

1. クリスチャン・ディオールが生んだ、花冠のように広がる「コロールスカート」を再解釈。ムラーノガラスや竹細工の伝統技法を用い、クチュールの優雅さを照明へと昇華。“コロール”ランプ¥510,000 (ディオール/クリスチャン ディオール) 2. 20世紀初頭にアール・デコを牽引し、装丁家、イラストレーター、家具デザイナーとしても活躍した、ピエール・ルグランが1925年にデザインした名作チェアを再解釈。オーク材とレザーに、マザー・オブ・パールを象徴する「VVV」シグネチャーを施し、アール・デコの美を現代に映し出す。“Riviera Chilliènn Chair” [100×90×60cm] ¥1,765,500 (ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス) 3. 馬術の世界に着想を得たベース。騎手のウェアを思わせるレザーケースと、植目仕上げのメタルベースが美しく調和し、異素材の魅力を引き立てる。ベース“バラディオン・ドゥ・エルメス・カザック” [20×直径12cm] 【価格未定】 (エルメス/エルメスジャパン) 4. イタリアの革新的なデザインハウス、ボルトロノーヴァとのコラボレーションにより、クリスチャン・アダムが1970年にデザインした名作「トマトチェア」を復刻。柔らかなレザーが彫刻的な美しさを引き立てて。チェア「オーダーメイド製造のためお問い合わせ」(クロエ/クロエ カスタマーリレーションズ) 5. 2026年コレクション「Origins」を象徴する一作。2008年誕生の“BALOONアームチェア”が、メゾンを象徴するグリーンの新ファブリックを纏い、普遍的な魅力を現代的に更新。チェア“BALOONアームチェア & フットレスト”アームチェア¥2,018,500 フットレスト¥894,300 (ともにアルマーニ/カーザ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)



1. CHANEL 2. YVES SAINT LAURENT 3. DIOR 4. LANCÔME



5. CLEAN 6. CLEAN 7. DECORTÉ 8. PRADA BEAUTY 9. NARS 10. SABON 11. CLARINS

Travel Beauty Buddy バカンスのビューティリスト

夏の予定が決まったら、旅先に連れて行くビューティアイテムをセレクト。
夏の装いに映えるカラー、コンパクトでマルチユースなコスメなど、高機能で気分が上がる逸品を揃えたい。

1. CHANEL フレッシュな使い心地で愛される「N°1」シリーズの2品が、今だけの特別な赤いケースにセット。N°1 ドゥ シャネル セラム デュオ [内容: セラム N°1 ドゥ シャネル 30mL、アイセラム N°1 ドゥ シャネル 15mL、限定トラベル ケース] ¥34,100 (限定販売中) / シャネル **2. YVES SAINT LAURENT** 繊細なトーンのピーチ系4色。シャイニーなシルバーとピンクの限定ケースが登場。クチュール ミニ クラッチ (コレクター) 826 ¥11,660 (8月21日限定発売) / イヴ・サンローラン・ボーテ **3. DIOR** バックステージの環境にも耐える、頼れるメイクキープミスト。ファンデのケア成分の効果までアップするのが嬉しい。バックステージ エアーフラッシュ ミスト 100mL ¥5,830 / バルファン・クリスチャン・ディオール **4. LANCÔME** ツヤと色が続く、美容液ティントリップ。肌色を選ばないローズベージュは、旅先のどんなシーンにもフィット。ラブソリュ ルージュ グレーズ ティンテーション 708 ¥5,610 (7月3日発売) / ランコム **5.6. CLEAN** 目にも楽しい、ポップなアイスキャンディ形の香りのミスト。グルマンな香りのピスタチオ、ココナッツや洋梨を感じるバニラをチョイス。ホイップバニラ ヘア&ボディバフェームミスト、ピスタチオパッション ヘア&ボディバフェームミスト 各88mL 各¥4,950 (限定販売中) / ブルーベル・ジャパン **7. DECORTÉ** 大人気のコンシーラーが刷新。旅先の軽やかなベースメイクに加え、突発的な肌悩みもおまかせ。トーン&フラット パーフェクティング パレット 全5種 各¥6,600 (8月21日発売) / コスメデコルテ **8. PRADA BEAUTY** 早くも話題沸騰中の、クリームからパウダーへ変化するマルチチーク。しっとり、ふわっとした質感で、頬、目、口元に血色感をオン。プラダ タッチ P75 ¥6,930 / プラダ ビューティ **9. NARS** 砂漠の旅がテーマのコレクションより、ターコイズを思わせるシアブルーのバームを。オアシスのような透明感を纏って。アフターグロー リップバーム N 230A ¥4,180 / NARS JAPAN **10. SABON** ハワイのジュシーさをギュッと濃縮。トロピカルフルーツを組み合わせた、楽園の香りのハンドクリーム。ハンドクリーム ハワイヤ・ロコ 30mL ¥1,870 (7月16日限定発売) / SABON Japan **11. CLARINS** バカンスならではのヘルシー肌を装うなら、オーガニック ココナッツオイル配合で、エアリーなつっぴ心地と美しいツヤ感を実現。ブロンズング パウダー 17g ¥5,170 (限定販売中) / クラランス

Piemonte 美食とワインの宝庫、北イタリア・ピエモンテを訪ねて

美食とワインの聖地ピエモンテ。世界遺産の葡萄酒畑、名醸ワイン、白トリュフ、そして王都トリノの気品と歴史が織りなす、上品で奥深い北イタリアの豊かさへ。

text: Jun Makiguchi



世界遺産「ランゲ=ロエーロとモンフェラートの葡萄酒畑の景観」。多様な土地が多くの洗練されたワインを生む
©Ginzane Cavour_Marco Badiani_Archivio Ente Turismo



トリュフの採取から供される瞬間までが一体となった体験は、香りが最高潮に達する一瞬を味わう、貴重で贅沢な時間
©Ente Fiera del Tartufo - ph Giorgio Perottino - Getty Images

ピエモンテは、なだらかな丘陵が広がる、イタリア北西の心地よい土地。朝の湿った空気、土の香り、遠くに霞むアルプス。五感に響く風景が、知られざるイタリアの奥深さを語りかけてくる。

美しき霧の丘に刻まれる、味覚の記憶

この地の豊かさは、まず「味覚の記憶」として刻まれる。世界遺産「ランゲ=ロエーロとモンフェラートの葡萄酒畑の景観」は、人の営みと自然が長い時間をかけて織り上げた文化的風景だ。この土地の主演はワイン。ネッピオーロ種から生まれる「王のワイン」パローロや「女王のワイン」バルバレスコは、長い熟成を経て複雑かつ気品ある味わいを育む。丘の斜面に連なる葡萄酒畑と、地下深くに広がるセラーを巡る時間は、この地のテロワールと向き合い、人の英知に触れる体験となるはずだ。長い熟成がもたらす複雑さと力強さは、時間という価値を味わう喜びを教えてくれる。



©Langhe Experience

この土地の中心にあるアルパでは、秋になれば白トリュフという特別な恵みに出会う。現地ならではのトリュフハント体験や市場、レストランでの一皿を通して、その季節ならではの恵みを堪能できる。



トリノには、「サヴォイア家の歓喜の王冠」として知られるユネスコ世界遺産に登録されている16の王室の邸宅が、16世紀末に建設された広大な庭園が広がるヴェナリア宮殿もその一つ
© Ceccarelli_Regione Piemonte



ピエモンテの州都、トリノ。美しい街並みには、イタリアの歴史や文化、アートが息づいている
©Visit Piemonte - ph Giorgio Guhni

王都トリノに息づく、静かな美意識

歴史に目を向ければ、トリノの存在が際立つ。イタリア統一の礎を築いたサヴォイア家の王都として栄えたこの街には、壮麗なトリノ王宮や幾何学的な都市設計など、かつての気品が息づく。世界遺産に登録された王宮群は、建築と権力の美学を今に伝え、同時にカフェ文化やチョコレートといった日常の洗練へとつながっている。ここには、歴史が日常に溶け込む上品な品格があるのだ。この伝統に加え、トリノは現代アートの表現や、世界的テニス大会「Nitto ATP Finals」をはじめとする国際的な大規模イベントの息吹にも開かれており、街に新たなエネルギーをもたらしている。

自然、歴史、スポーツ、美食、ワイン、そしてその他多くの魅力。ピエモンテの魅力は、それぞれが主張するのではなく、調和しながら、時を経て重なり合うことで深まっていく。華やかさ以上に、時間が育む豊かさを、訪れる人の記憶に沈み込み、長く余韻を残す。知性と感性で味わうラグジュアリーが待つ北イタリアへ。

夏を迎えるための ボディ支度

シアーな素材、ノースリーブなど、夏の装いを引き立てるのは、ヘルシーなボディ。話題のマルチコスメ、酷暑に嬉しいひんやり系、質感やラインを整えるアイテムなど、自信をくれる逸品をチョイス。

text: Kiriko Sano



©Tatiana Maksimova

1. 上質な香りであらうおす マルチケア

今季のトレンドは、複数のパーツに使えるマルチケア。持ち歩きたくなるケースやラグジュアリーな作りのボディケアが続々登場。ケア効果に加え、美意識を高める香りにも注目したい。

1.CHANEL

軽やかなフローラルの香りに包み込まれて爽やかで多くの人に愛されるフレグランスより、ヘア&ボディケア用のオイルが誕生。動きとともに、ふと香るさりげなさが心地よい。チャンス オーフレッシュヘア&ボディオイル 150mL ¥18,700 / シャネル

2.SISLEY

ブランド初のホームコレクション。ハンドとボディを優しく洗えるラグジュアリーな洗浄料。ブランド創業時に誕生した香りまで至福のケアタイムへ。クレンジング ハンド アンド ボディ バーム 350mL ¥14,850 (限定販売中) / シスレージャパン

3.YVES SAINT LAURENT

ハート形のマルチクリーム。メゾンの作品に着想を得た、キャッチーなケースに心躍る。持ち歩いてハンド、ボディ、フェイスに使う。ケアクラッシュセラムクリーム 50mL ¥8,580 / イヴ・サンローラン・ポータル

4.TOM FORD BEAUTY

センシュアルな“太陽の香り”を纏う温かみを感じるソーラー アンバー フローラルの香り。さらっとなじみ、ハリ肌に。ソレイユ ブラン ハンド アンド ボディ モイスチャライザー 240mL ¥14,300 / トム フォード ビューティ



2. ほてる肌を鎮める 心地よいクール感

夏の暑さを受けて、清涼感のあるコスメが大人向けに進化中。天然由来の清涼成分や強すぎないクール感など、バリエーションが増えている。暑い時期が長いからこそ、シーズンを通して頼れる予感。

1.John masters organics

キラッとツヤめく冷感ジェル。繊細な2色のラメ入りで、ノースリーブなど、肌を見せるシーンに活躍。ひんやりとした感触がこの時期に嬉しい。L&Aクールボディジェル スパークル 100mL ¥2,970 (限定販売中) / ジョンマスターオーガニック

2.AYURA

涼やかな夏のバスタイムのお供。薄荷やグレープフルーツをブレンドしたハーバルな香りで、涼感を堪能できる入浴剤。ほてりがちな肌を鎮め、しっとり。メディテーションバス(香涼み) α 300mL ¥2,750 (限定販売中) / アユラ

3.JILL STUART

繊細な霧を浴びてクールダウン。ふわわりとした浴び心地で、UVや空調による乾燥をケア。特に暑い日は、冷蔵庫で冷やしてもGOOD。ホワイトフローラル アイシーボディミスト 75mL ¥2,970 (限定販売) / ジルスタUART ビューティ

4.SHIRO

キリッと冴えた冷感で心地よく。通常の約1.7倍のメントールを配合し、保湿も抜かりなく。入浴後や寝る前、お出かけ前に、腕や首などにスットひと塗り。アイスミント ボディローション エクストラクール 50mL ¥2,860 (限定販売中) / シロ



3. 不要なものを脱ぎ捨てて つるんとスムーズ肌

紫外線や乾燥により、角質が溜まりやすい夏の肌。スクラブに加え、香りにこだわったウォッシュ、ターンオーバーを促すコスメなど、“落としてうるおすケア”をアップデートしたい。

1.BERNARD CASSIERE

仏発の「バクチオール」ケア。仏・ブリーヴ地方のブランドより、自然由来の美容成分「バクチオール」を用いたパーツケアが登場。肌のターンオーバーをサポートして、“生まれたて”のハリ感へ。ネック&デコルテ セラム 30mL ¥13,200 / 滝川

2.L'OCCITANE

プロヴァンスのアーモンドの恵み。アーモンドの殻から作られたスクラブで角質ケア。クリーミーなテクスチャーで、“落とすケア”とは思えないほどのうるおい感。アマンドスプリム ボリッシュペースト 200mL ¥6,600 / ロクサンジャポン

3.NEROLILA

ナチュラルな素材で芯から“浄化”。インカの天日塩や、クレイ、麻炭、コンニャク由来のスクラブをブレンド。植物の香りで、マイルドですっきり。ネロリラ 宇宙コンニャク 100g ¥4,950 (7月21日発売) / ネロリラ (ICL)

4.SABON

25年の時を経て名品がパワーアップ。抗炎症ケアまで可能に。ボディを洗い、そのままバスに浸かって。独自のリチュアルで、保湿まで完了。ハイドレイティング シャワーオイル デリケート・ジャズミン 300mL ¥3,740 / SABON Japan



©Galina Zhigalova

4. 巡るボディで すっきりシルエット

大人が求めるシャープな印象美。“痩せ”を目指すのではなく、すっきり引き締めたい。技術が進み、今や自宅で本格的なケアが叶うように。試さない手はなし。

1.ReFa

自宅のお風呂で“泡トレーニング”。浴槽にセットすると2種の泡を放出し、全身を揺らすことで入浴時間を運動時間に変える。毛穴の汚れを落とすツツリフレッシュできる。リファスリミエ ¥121,000 / MTG

2.YA-MAN

EMS&マッサージを全身へ。2つのアタッチメントで、ボディに加え、頭皮&フェイスラインまでマッサージ。肌を掴んで揉み、EMSで深部まで刺激できる。YA-MAN TOKYO JAPAN プロ ライン ヴェーダニードルスパ デュアル ¥38,500 / ヤーマン

3.Clé de peau BEAUTÉ

先進のサイエンスで嬉しい手応え。リンパ管に着目し、研ぎ澄まされた美しさを目指すクリーム。香りで幸福感に満たされながら、質感もシェイプも、理想が現実へ。シナクティフ クレームコール 195g ¥47,300 (7月21日発売) / クレド・ポー ボーテ

4.CLARINS

本気で引き締めたい人のパートナー。セルライトに働きかけ、シルエットを整えるセラムが大容量で登場。盛夏へ向け、本腰を入れてボディを整えたい人に。ボディ フィット アクティヴ 400mL ¥18,700 (限定販売中) / クラランス



贅沢な昼下がりを過ごす
俳優コ ユンジョンの
バニラ色の午後

marie claire Korea

軽やかに、しなやかに、
心地よく。

CHANELの
「サブリマージュ」
コレクションとともに

photos: Go Won Tae /
beauty editor: Kim Sang Eun / features editor: Ahn Yoo Jin
translation: Eri Masuda



シャネルのサブリマージュ セラムは、主成分のヴァニラ プラニフォリア PFA^{※1}の力が肌の土台をしっかりとるおいで満たし、重ねるほどになめらかで崇高な輝きを放つ。ピアス、ジャケット、スカート、トップス、シューズ / すべて参考商品
※1バニラ果実油(保湿成分)シャネル独自の分離抽出プロセス、ポリフラクショナル(PFA)



温かみのあるバニラ色の空気に抱かれたような午後。コ ユンジョンの芯のある眼差しと、温かな光が照らす上質な肌が目を引く。シャネルのサブリマージュ セラムは、肌にうるおいと心地よさ、ハリ、そして輝きをもたらしてくれる。ピアス、ジャケット、トップス / すべて参考商品



「顔はあなたの内なる世界を映し出す鏡。その鏡を、十分にお手入れしてあげなさい」。ガブリエル シャネルのこの言葉は、サブリーマージュという名の下で一つの肌哲学へとつながる。慣習から抜け出し、自由を叫んだ彼女の美学を体現するサブリーマージュ。肌は単なる結果ではなく、時間と経験が紡いだ自分らしさの証。(上から) サブリーマージュ レクストレドゥ ユイール 15mL ¥86,900、サブリーマージュ セラム 30mL ¥64,900、サブリーマージュ ラクレーム フィン 50g ¥61,600、サブリーマージュ ル ボーム N 50g ¥72,600 / すべてシャネル

*本記事に掲載の製品は、7月8日に価格改定予定です。詳細については本誌ショップリスト掲載のシャネル カスタマー ケア センターまでお問い合わせください。



真昼の光が顔の上をかすめるように通り過ぎ、肌のキメを美しく浮かび上がらせる。温かな午後の空気と調和するかのように、コエンジヨンの活力が満ち、優雅に輝く肌を完成させたシャネルのサブリーマージュ コレクション。その中核となるのがヴァニラ プラコフィリア PFA*1
*1ハニラ果実油(保湿成分) シャネル独自の分離抽出プロセス、ポリフラクショナル(PFA)

Special Interview

年初に公開されたNetflixシリーズ『恋の通訳、できませんか?』がグローバルチャートで上位にランクインし、多くの人たちから注目されましたね。

去年の初めに撮影を終えてから、新しい作品を準備しながら、とても忙しく過ごしていました。自分が演じた「ムヒ」への思いを忘れかけていた頃に作品が公開され、最近はそのことをまた思い出すようになりましたね。1年経った今でも、撮影当時の記憶が鮮明に残っています。

多くの国を歩き来しながらの撮影では、記憶に残る瞬間が多かったと思います。

海外でのドラマ撮影は初めてだったのですが、出演者だけでなくスタッフの皆さんとも自然と距離が縮まり、戦友愛のようなものが生まれました(笑)。言葉がうまく通じないからこそ、お互いが一丸となった瞬間や、撮影現場に韓国料理が残っているとみんなに分け合って食べたことが思い出されます。作品に四季がすべて収められているので、振り返ると1年間の長い旅に行ってきたような気がします。

今回の「シャネル」の撮影はいかがでしたか?

静かで落ち着いた雰囲気の中で、肌の輝きを強調したメイクに挑戦しました。最近では、メイクアップのグラビアが中心だったので、スキンケアラインをテーマにした撮影は、新鮮な感覚でした。肌の上から自然にツヤが立ち上がるメイクを色々試したのですが、ほのかな光が画面にも綺麗に表現されたと思います。

最近のバラエティ番組「マニトクラブ」では、率直で飾らない姿を見せてくれています。普段、身近な人にはどのように気持ちを伝えていますか?

目立たないように気持ちを伝えるというマニト(Manito=秘密の友達)番組の趣旨が、私の性格によく合っている気がします。普段から大切な人たちに「好きだ」と言葉で表現するのは少し苦手な方。その代わりに、相手が何気なく言った言葉を覚えていて、それをプレゼントしたり、その人が喜ぶ行動をとるようにしたり、形で表現します。もちろん、相手が言葉での表現を望むなら、そうできるように努力しますけれど。

次回作の公開を控えていますね。

Netflixシリーズ『誰だって無価値な自分と闘っている』で、映画会社チェ・フィルム所属の企画プロデューサー「ビョン・ウナ」役を演じていますが、映画業界を舞台にした物語なので、共感できるシーンがたくさんありました。一つの作品が作られるまでの過程が、ものすごくリアルに描かれているんです。ドラマ「マイ・ディア・ミスター〜私のおじさん〜」や「私の解放日誌」も手がけた、脚本家パク・ヘヨン特有の雰囲気を生かしつつ、随所にコメディ要素がちりばめられ

ていて、私には希望に満ちた物語のようにも感じられました。

前作との温度差が大きいだろうと察しました。演じた人物のどんな点に特に興味を惹かれましたか?

前作とは正反対の性格だったので魅力を感じたのだと思います。ムヒが鮮やかな色で輝く人物だとしたら、ウナは無彩色に近いです。二人とも、表には出さない深い不安を内面に抱えています。感情表現が違う点も興味深かったです。ムヒは感情を表に出すことに慣れているキャラクターだったのでセリフ量が多く、ウナは絶えず自分自身の内側に入り込んで自身に問いかける人物なので、セリフの合間にある「余白」が多い。口数は少ないですが、時折ボツリと放つ一言に鋭い真実が込められていて、言葉の持つ重みが大きい子ですね。二人とも私とは違うタイプですが、私はウナに近いと思います。私もメンタルが辛かったり不安だったりする時、誰かに打ち明けるよりは自分で整理しようとするタイプ。感情が大きく揺れ動く時は、静まるまでじっと待つ方ですね。

自分とは違う性格の人物を演じることで何か変化はありましたか?

感受性が豊かで、繊細で、鋭敏な人物を演じていると、普段は見過ごしてしまうがちな些細な感情を、より丁寧に見つめるようになる気がします。見慣れている当たり前だと思っていたことも、振り返ればとてもありがたいことだったのだと気づかされますし、私が演じた人物たちと似た周囲の人々を理解する方法も、少し変わったように思います。

コ・ユンジョンという俳優が歩んできた作品を見ると、多彩なジャンルやストーリーへの関心が感じられます。作品を選ぶ時は、「新しさ」を選択する方ですか? 「やりたいこと」と「うまくできること」の間で、いつも前者を選んできた気がします。もちろん、だんだんと作品の中での責任が大きくなるにつれて、自然とその二つの交差点を探さようになりますが、新しい選択をするたびに向き合う予想外の事や可能性は、私にとっていつもポジティブな刺激になってくれます。

2年前の『マリ・クレール』でのインタビューで、「現場に向かうのはいつも楽しい」と話していましたね。楽しめるようになったきっかけはありますか?

デビュー当初は、経験不足からくる緊張感が大きかったです。ドラマ「ロースクール」では、同世代の俳優たちとお互いに支え合いながらシーンを作り上げていったのですが、その時に初めて現場の楽しさを知りました。100人近い人々が一緒に一つの作品を作っていくという感覚、その一体感が本当に心地よかったです。その後「還魂」「ムービング」「いつかは

賢いレジデント生活」を経験していく中で、演技そのものに面白さを感じるようになりました。仲間ができたことで現場が居心地よくなり、もっと上手になりたいという欲も自然と湧いてきました。

一緒に作品を作っていく俳優たちと関係が深まる中で、作品の見方に変化はありましたか?

以前は好きな作品を中心に観ていましたが、最近では心の余裕がなくても、新しい作品が出る第1話は必ずチェックします。『誰だって無価値な自分と闘っている』を撮影しながら、自分に届く台本の一冊一冊がどれほど過酷な過程を経て作られるのかを、より実感するようになりました。ヒットするかどうかは別として、「この作品が今、世に出るのには理由があるはずだ」という気持ち、そして「これから長い時間を共にする仲間たちの作品だ」という思いで観るようになった気がします。

多くの現場を経験し、自分に対する自信も少しずつ生まれていますか?

ほんの少しです。以前、絵を描いていた時は、自分が何が得意で何が苦手なのかを理解していました。足りない部分は補い、強みは活かしながら、比較的スマートなやり方で絵を描いていたと思います。演技を不慣れに感じていた時期を乗り越えたことで、当時の感覚に少しずつ近づいている気がします。ですが、やっと適応した段階。少しでも「確信が持てたかな」と思うと、予想を裏切られることが多いので(笑)。今は、上手になりたいという気持ちや期待は一度置いて、テイク毎に、真摯に臨むよう努力しています。

この先どのような心構えで続けていきたいですか?

最初と大きく変わっていないと感じます。明日は、次の現場ではどんなことが起きるか、自分の演技にはどんな変化があるか、変わらず気になりますし楽しみです。一つのことを長く続けていると、新しい刺激に慣れてしまう瞬間がきっと来るはずですが、演技においてはその時期ができるだけ遅く来てほしいです。鈍感になりたくないですね。

〈P40〉シャネルのサブリーマージュレクストレドゥ・ユイールは、ヴァニラ プラニフォリア PFA*1と稀少なオイル成分*2が溶け合い、肌の奥深くへと静かに浸透*3。シャネル独自の分離抽出プロセスを経て、濃縮されたヴァニラ プラニフォリア PFAにスウェルティア エキス*4が加わることで、ゆっくりと、確実に肌へと染み込んでいく*5。肌のキメを整え、止まっていたリズムを再び刻むように、肌はいきいきと、満ち溢れるような生命力を放つ。

*1バニラ果実油(保湿成分) シャネル独自の分離抽出プロセス、ポリフラクショニング(PFA) *2(カプリル酸/カプリン酸)シアルキル、バニラ花エキス(保湿成分) *3角質層まで *4 チレタセンプリエキス(保湿成分) *5角質層まで



